

まん延防止等重点措置の解除と今後の対応について

7がつ8にち もくようび はっぴょう
7月8日 (木曜日) 発表

えんぼうしとうじゆうてんそち
※まん延防止等重点措置…緊急事態宣言が 出ないように するために、市や 町ご
とに

ねが
お願いすること。

きんきゆうじたいそち
※緊急事態措置…緊急事態宣言(みなさんの 生活が 危ないときに 出る 大切な お
し
知ら

せ)が 出たときに、都道府県ごとに お願いすること。

ほんじつ、くに たいさくほんぶは、7がつ11にち 福岡県の まん延防止等重点措置の 解除を
決めました。これを受け、これからの対応について 決めました。

感染状況について

4がつ19にち たかしまふくおかしちよう
4月19日に 高島福岡市長とともに 会見を 開き、県民のみなさん、福岡市内の 事
業者の みなさんに お店を 開ける 時間を 短くするように お願いし、およそ3か月
の間 とても ご不便や ご苦勞を おかけしました。また、医療に 関係する 仕事を
している みなさんは コロナウイルスの 医療の 現場で がんばっています。みなさんの
ご理解と 大きな ご協力のおかげで、このまん延防止等重点措置を やめることが でき
るようになりました。ありがとうございます。

あたらしく コロナウイルスの 病気になった 人の 数は、6がつ5にち、くに せんもんか
が
示す ステージ2よりも 少なくなって きています。コロナウイルスの 病気になった人の
ための ベッドの数が 1,413個あり、宿泊療養施設は、2,106部屋 あります。
ここ1週間の 新しく コロナウイルスの 病気になった 人の 数は、まん延防止等
重点措置の 解除を 国に お願いした 6がつ28日 のときと 同じくらいです。

あたらしく コロナウイルスの 病気になった人の 数が 少なくなったことで、5がつ
ごうはんから、病院に 入院している 人の数が 少なくなりました。また 7月7日の
病院の ベッドを 使っている 割合は 9.6%となり、約8カ月ぶりに 10%より 低
くなりました。

これからの対応について

今の感染状況や医療の負担を考えると、まん延防止等重点措置をやめた後に、県民のみなさんに「外に出ることをやめること」「飲食店を開けている時間を短くすると」「お客さんにお酒を出す時間を短くすること」などのお願いを強くお願いする必要はあまりないと思います。しかし、まん延防止等重点措置をやめることでコロナウイルスの病気が終わったと思わないでください。これまでのお願いを再び強くお願いしなくてもいいように対策を続けましょう。またデルタ株などの新しく変化したコロナウイルスや、福岡県との移動が多い東京や大阪のコロナウイルスの病気の広がり方などを注意して確認する必要があります。そのため、専門家や市町村の意見を聞いて、県民のみなさんや事業者のみなさんに、次の協力をお願いします。

県民のみなさんへのお願い

外へ出るときは「行く場所の感染の広がり方」「利用する施設のコロナウイルスが広がらないようにするための対策」をよく確認してください。人が少ない時間と場所を選んでください。熱が出ているときなどは、外へ出ることや他の場所へ行くことをやめてください。

地元へ帰ることや旅行など福岡県以外に行くときは、「3つの密」を避けて基本的な病気になるための対策をしてください。緊急事態措置やまん延防止等重点措置をお願いしている場所への移動は、できるだけやめてください。

飲食をするときのお願い

コロナウイルスが広がらないようにするための対策ができていない飲食店には行かないでください。少ない人の数でも、コロナウイルスが広がらないようにするための対策が十分にできていない飲食店は、コロナウイルスの病気になる可能性が高くなります。特に、人の数が多いと、食事をするときに大きな声になってつばが飛ぶので、別に示している「感染リスクを避ける飲食店の利用について」の中で、お客さんが守るべきことを守って、コロナウイルスが広がらないようにするための対策が十分でない飲食店には行かないでください。(別添1「感染リスクを避ける飲食店の利用について」を見てください。)

2時間以上長くお酒を飲むと、大きな声を出すことが増えるので、やめてください。また、話をするときは、マスクをつけて、大きな声は出さないでください。家で食事をするときや外でのバーベキューなどでもマスクをつけて、大きな声は出さないでください。みなさんでお酒を注いだり、一緒のグラスを使うことはやめてく

ださい。グループで たくさん テーブルを 使っているときは 違う テーブルへ 動かないように してください。

カラオケ店へ行くときについて

マイク などは 使う人が 変わるときに、必ず 消毒を してください。また、歌うときは マスクをつけて、他の人と 2メートル以上 離れてください。カラオケ店に 行くときは、1メートル以上 離れて、他の人の 目の前に 座らないように してください。お昼にカラオケを 使える お店では、たくさんの 人が コロナウイルスの 病気になることが あります。 気をつけてください。

飲食店の みなさんへの お願い

添付している 「感染リスクを避ける飲食店の利用について」を 守って、感染を 防ぐための 対策を しっかりと 行ってください。具体的には、席の間を 1メートル以上あけたり、向かい合わないように 席を ずらしたり、テーブルの 真ん中に アクリル板を 置いたり してください。カウンター席も 同じように、お客さん同士の 距離を 1メートル以上あけたり、アクリル板を 置いたり してください。また、30分に1回、窓を 2つ開けて 風を 十分に 通し、感染を しっかりと 防いでください。お店から お客さんに、マスクを 着けることと 大声をださないことを お願いしてください。あとで説明しますが、県の 新しい認証制度に 協力して 「感染防止認証マーク」を ぜひ 取り入れてください。

また、結婚披露宴など 多くの人で 食事をする ホテルや 日本料理屋の 大きな部屋では、食事を するとき 部屋に入る 人の数の50% 以下にして、席やテーブルの間を 1メートル以上あけるか アクリル板を 置いてください。お客さん同士で 飲み物を 注ぎあったり 自分のテーブルから 別のテーブルに 動いたり しないでください。また、立ってではなく、座って 食べたり 飲んだり してください。

カラオケの機械を 使うお店は、マイクやリモコンの 消毒を しっかりと 行い、カラオケボックスは 全部の部屋に 消毒するための 道具を 置いてください。スナックやカラオケ喫茶などは、知り合いでない人たちが たくさん集まるので、空気の 入れ換えや 人との 距離をあけることを しっかりと 行ってください。

県では、これからも 飲食店の 感染を防ぐための 取り組みが しっかりと 行われているかを 確認するため、県民のみなさんからの 連絡などを もとに、すぐに お店を 訪問して、必要な指導を 行っていきます。

感染防止認証制度が始まります

お店などの見回りの他にも、「感染防止認証制度」という新しい取り組みを始めます。これは、県内の飲食店が、コロナウイルスの病気が広がることを防ぐために十分な対策を行っているかを確認し、十分な対策ができています飲食店に、「感染防止認証マーク」をお渡しする取り組みです。この認証マークを受け取った飲食店は、認証マークをお店に貼ることができます。お店を利用する人は、お店の感染防止対策が十分であること確認できるので、より安心してお店を利用できます。

感染防止認証マークを受け取るためには、県が決めた基準をクリアしないとはいけません。基準は、業種別ガイドラインを基本として40項目あります。カラオケ店やお店の人と話しながら食べたり飲んだりするお店は、守らないといけない項目が増えます。これらの項目の中には県が独自に、決めている項目もあり、出勤の時の体温チェックや、ドアノブ、券を売る機械などの、さわることが多い場所の消毒など、チェックリストを作成し、お店を利用する人に確認状況が見えるようにすることを設けています。

今月の終わりごろから、調査員が県内の35,000の飲食店を訪問して、お店の感染防止対策を確認します。飲食店は、来週、7月16日（金曜日）から申請できます。申請は、インターネットか紙で行ってください。申請方法や認証マークを受け取るために必要なことについては、県のホームページ内の新型コロナのページで見ることができます。認証マークは9月の終わりごろに一斉に送ります。認証マークに番号はありませんが、それとは別に認証番号が書いてある認証書も発行します。これは、お店のレジの近くに貼るといいと思います。認証マークを受け取ることができた飲食店は、5万円の支援金がもらえます。消毒液を買ったりなど、感染防止対策のために使ってください。県民のみなさんが安心してお店を利用できるように、飲食店のみなさん、ご理解と積極的な申請をよろしくお願いします。

これからの対策について

これから、お盆（日本で夏に行われる行事）などで人の移動が多くなり、緊急事態宣言の地域などとの行き来はどうしても発生します。コロナウイルスの病気が広まってしまふことを防ぐために、空港や新幹線の駅で抗原検査（コロナウイルスの病気をみつけるための検査）などをするか、考えています。ま

た、^{はんかがい} 繁華街（^{せんもんでん} 専門店や ^{いんしょくてん} 飲食店などが ^{あつ} たくさん ^{あつ} 集まっているところ）で、^{くらすたー} クラスターが ^お 起こりそうなときは、^{ひろ} 広い ^{はんい} 範囲で ^{けんさ} PCR検査を ^{おこな} 行うことを ^{けんとう} 検討していきます。

福岡コロナ警報の 見直し

※^{おか} 福岡コロナ警報…^{ころな} コロナウイルスの ^{びょうき} 病気が ^{ひろ} 広まったとき、^{いりようきかん} それぞれの 医療機関で、^ど どのよ ^う うな ^{たいみんぐ} タイミングで ^{びょういん} 病院の ^{べつど} ベッドを ^{かくほ} 確保する ^{じゆんび} 準備に ^{はい} 入るか、^{いりよう} 医療 ^{かんけいしゃ} 関係者の ^{あいだ} 間で ^{きょうゆう} 共有できる ^{きやつかんてき} 客観的な ^{きじゆん} 基準として、^{ふくおかけん} 福岡県が ^{どくじ} 独自に ^き 決めたものです。

「^{ふくお} 福岡コロナ警報」を ^{みなお} 見直して、^{けんみん} 県民の ^{みなさん} みなさんや ^{じぎょうしゃ} 事業者の ^{みなさん} みなさんに、^{ちゆうい} 注意を ^よ 呼びかけたり ^{きょうりよく} 協力の ^{ねが} お願いをする ^{ふくおかけん} 福岡県の ^{どくじ} 独自の ^{きじゆん} 基準を ^{あた} 新しくすることを ^{かんが} 考えています。 ^{だい} 第4波の ^{ばい} 経験や ^{へんいかぶ} 変異株（^{あた} 新しく ^{へんか} 変化した ^{ころな} コロナウイルス）を ^{かんが} 考えて、^{くに} 国の ^{すてー} ステージ判断の ^{きじゆん} 基準よりも ^{きび} 厳しくしようと ^{かんが} 考えています。 ^{でき} 出来るだけ早く、^{ぐたいてき} 具体的な ^{ないよう} 内容を ^き 決めて、^し お知らせしたいと ^{おも} 思います。

最後に

^{けんみん} 県民の ^{みなさん} みなさん、^{じぎょうしゃ} 事業者の ^{みなさん} みなさん、^{じぶん} 自分や ^{たいせつ} 大切な ^{ひと} 人の ^{いのち} 命と ^{けんこう} 健康を ^{まも} 守る ^{ため} ために、^{ころな} コロナウイルスの ^{びょうき} 病気のための ^{たいさく} 対策を ^{まも} 守りましょう。